

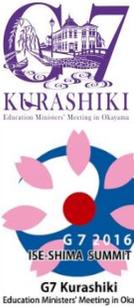
骨子(抜粋)

II. 教えや学びの改善・向上策

- 技術革新に対応した教育：情報活用能力の育成を促進。教員のICTスキル向上の重要性。不利な状況におかれている学習者へのICTの利活用の奨励。情報の質や情報源を見分けるために必要なメディアや情報に関する能力育成を推進。

(別添：G7教育大臣の行動指針)

- ICTを活用した学びの実践効果の実証研究を推進



宣言本文(抜粋)

技術革新に対応した教育

23. 第4次産業革命やインターネット・オブ・エブリシング (IoE) に伴う飛躍的な技術の進展へ対応するためには、情報活用能力は子供たちや全ての学習者に不可欠な資質・能力であることを再確認するとともに、ICTが、課題の発見・解決を促す主体的・協働的かつ双方向の多様な学びを実現するための効果的なツールであることを我々は認識する。教員と児童生徒の対面指導の重要性を認識しつつ、我々はICTを用いた質の高い教育を促進する必要がある。我々は、全ての学習者が等しく、学びを支援するテクノロジーにつながり、アクセスでき、学びを経験できるようにすべきであることを確認する。我々は、生徒が学び、ICTによる恩恵を受ける上で教員が重要な役割を果たすことを認識するとともに、教員が教室でICTを使うスキルを向上させることが重要であることを確信する。

24. 我々は、社会的・経済的に不利な状況に置かれていたり、心身の事情その他の理由により学校に通えていなかったりする学習者の個に応じた多様な学びのニーズに応えるためのICTの利活用を強く奨励する。ネットワークを通じて、世界の子供たちとの双方向の学びの機会の増大や教員間で他国の優れた教育実践の共有が実現できるなど、ICTが持つ遠隔教育の可能性を我々は評価する。

25. 同時に、我々は技術革新の悪用の可能性や様々な性質のオンライン情報の氾濫にも対処するため、我々は、子供や若者が情報の質や情報源を見分けるために必要なメディア・情報リテラシーやスキル、能力を身に付けさせる必要性を強調する。さらに、若者に影響力が大きいソーシャルメディアに関して、オンラインでの健全な社会的交流を行い、虚偽の情報と現実を区別し、事実と単なる意見をしっかりと見極めることができるようになるための教育や指導も必要であることを認識する。